

源氏頭書

永壽百人一首

金



町田瀧司編輯

源氏
頭書
永壽宮人
全

明治

十八年

一月出版

隆港堂

叢兌



桐壺

いとけ

たか

まろり

あひ

たの

あや

あま

あま

あま

あま



天智天皇

のり

のり

のり

のり

のり

のり

のり

のり

のり

のり



乙持統天皇

のり

のり

のり

のり

のり



第一

うぶ
あふめ
ふせや
かろ
あふ
うきよ
うき
うき
うき



空蟬 うつせき

うつせみの
を
う
水
あ
人
なる
う



乃 柿 布 人 磨

足曳乃山

どろの尾

志ありを

なほ

ひさううとつ



4
め やま
る べの
ふ もつ
く ひと

五

曰子不識

史記

公燦

やどあきのたうふねふ



安倍仲麿

あまの

子

又是在

三み
うさ
のや
あ
り

三ノ
一ノ
二ノ
三ノ
四ノ
五ノ
六ノ
七ノ
八ノ
九ノ
十ノ
十一ノ
十二ノ
十三ノ
十四ノ
十五ノ
十六ノ
十七ノ
十八ノ
十九ノ
二十ノ
二十一ノ
二十二ノ
二十三ノ
二十四ノ
二十五ノ
二十六ノ
二十七ノ
二十八ノ
二十九ノ
三十ノ
三十一ノ
三十二ノ
三十三ノ
三十四ノ
三十五ノ
三十六ノ
三十七ノ
三十八ノ
三十九ノ
四十ノ
四十一ノ
四十二ノ
四十三ノ
四十四ノ
四十五ノ
四十六ノ
四十七ノ
四十八ノ
四十九ノ
五十ノ
五十一ノ
五十二ノ
五十三ノ
五十四ノ
五十五ノ
五十六ノ
五十七ノ
五十八ノ
五十九ノ
六十ノ
六十一ノ
六十二ノ
六十三ノ
六十四ノ
六十五ノ
六十六ノ
六十七ノ
六十八ノ
六十九ノ
七十ノ
七十一ノ
七十二ノ
七十三ノ
七十四ノ
七十五ノ
七十六ノ
七十七ノ
七十八ノ
七十九ノ
八十ノ
八十一ノ
八十二ノ
八十三ノ
八十四ノ
八十五ノ
八十六ノ
八十七ノ
八十八ノ
八十九ノ
九十ノ
九十一ノ
九十二ノ
九十三ノ
九十四ノ
九十五ノ
九十六ノ
九十七ノ
九十八ノ
九十九ノ
百ノ



又
土居探法師

わの^いろ^ろは^ろ乃

孝子と志のぞ

長心女

うらやま

今更いふなり



五月

天師

不

たそけ

子之

それ

二五

よる



夕顔



小
張九方丈

朽く
みぢ

子方

つゝとて
こゝろをうへにぞ

いふきふにうる

中納言ちゅうなごん家持やけ

方

十

たぐふの
まゝとみま

夜をふくみやり

花のいんた
 小町小町

うゑにありて

いふ

我々五ノ子

一、
世
年

彈丸

ふねやう

月能之

志

あさき

1



花の宴

[illegible][illegible]

五つ子
 小鳥
 ねろ
 かよひ
 むすめ
 むすめ



川、^{さんぎ}多議^{くわむ}皇
水^{くわむ}回^{くわむ}結^{くわむ}は^{くわむ}く

ハナ名子
こは出ぬと
人まをばあ
あはのつり舟



12 僧正遍照
そなたの
そなたの
そなたの
そなたの



あつち
しやうのまご
とて



陽東院
はるばるの
こねよう
まふ乃水
こゑをこそ
婦ちと
なりぬふ

何原大匠



みちびこの
志のぶりぢ
それあるは
こなきそある
我なりと云ふ

柳 さくき

神 かみ

あふの

杉 すぎ

あふの

いふ

あふの

あふの

あふの

柳

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

19 伊勢

難波

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの

あふの





零落

加

あるで

ととも

とくち

ひ

三

孝子及

一

お
り
ひ

76



中納言兼補

五ノ内

卷之六

つゝ

以
印
又
地
也

悉くのちむ

源平千朝臣

い
甲子を冬ど

はるる

人免を所

うきぬと^{おも}思ふ

凡河内考河内考

にあらざる

乃

たきやどいせり

あふさるゐや



王生忠岑

乃^ハ是^レ也

又
それ

あゝのつ

うたふのふ



三三三
美屋



あや
さうの
せむや
いうるる
美るる
さびき
これの
る
と
らん

三三三
繪合



うねん
み
そのけり
より
る
ま
さ
う
めえ
なみ
ぶら

上是則
朝の月と

み
よ
ふ
雪



春道列樹
山川風の

み
た
を
み
ち
ち
り



紀
な
則

花乃ちるる
ま
な
み
ち
ち
り



原
興
風

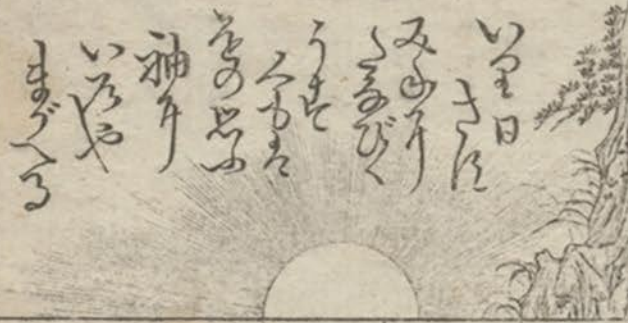
せ
ん
あ
る
ま
の
ね
も
む
う
な
と
を
あ
い
な
る
な



松風



薄雲



紀貫之

今をいさなす
まはるにほふ
まはるにほふ
まはるにほふ



清原深養父

夏は夜を
まはるにほふ
まはるにほふ
まはるにほふ



文彦雄

志はあきら
風の如き
風の如き
風の如き



右近

志はあきら
風の如き
風の如き
風の如き



意の持ちこ



胡蝶

とまをたふ

こそあを

さくや

あき

秋ま

むを

え

らん



紫

こゑを

あを

あを

あを

あを

あを

あを

あを

あを



魚

はまむ

やどあき

人

秋

源重之

風

いそ

おのれ

あり

あり



大中臣能宣朝臣

源重之

風

いそ

おのれ

あり

あり

あり

あり

あり

あり





常

る

とこ

き

る

を

の

を

や

ん

ん

毎火

うむび

こひのけ

こせぬわ

ア

のつ

風さつたむ

まよふあふ

つさくね

ま

ふちさうさうくあそん
はるあそ方
かくとふあ
えやまといふきの
きりふき

け
ふ
ふ
ふ
ふ

ふちさうさうくあそん
はるあそ方
かくとふあ
えやまといふきの
きりふき

ふちさうさうくあそん
はるあそ方
かくとふあ
えやまといふきの
きりふき

ふちさうさうくあそん
はるあそ方
かくとふあ
えやまといふきの
きりふき

ふちさうさうくあそん
はるあそ方
かくとふあ
えやまといふきの
きりふき

ふちさうさうくあそん
はるあそ方
かくとふあ
えやまといふきの
きりふき

ふちさうさうくあそん
はるあそ方
かくとふあ
えやまといふきの
きりふき





むめぐ
梅枝

あきく
そでう
うらん
とど
おし
ちりに
おし
おし



あつめ
赤染

あつめ
おあき
あき
あき
あき
あき
あき
あき



小式部内侍

大江山
みち
あき
あき
あき
あき
あき
あき



あつめ
裏糸

あき
あき
あき
あき
あき
あき
あき
あき



いせ
伊勢大補

あき
あき
あき
あき
あき
あき
あき
あき



せい
清少納言

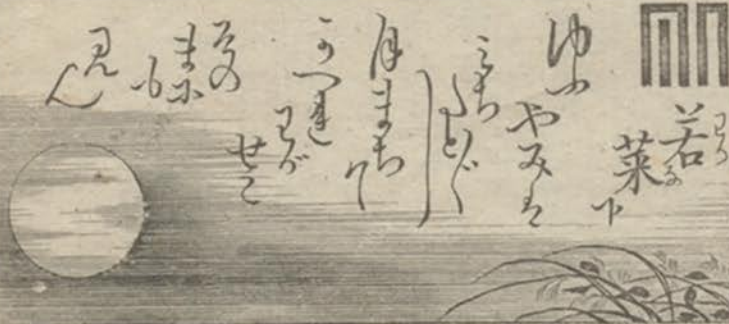
あき
あき
あき
あき
あき
あき
あき
あき





左京方また桂
 今もよきおひ
 くらんと
 人ほあうで
 いふもこのあ

権中納言之頼
 朝がやう
 川がう
 あうまき
 瀬はあ



相摸
 うふふ
 不さぬ神
 ある相を
 くらあんな
 ねーあ



前大僧正行尊

注しを
 あんま
 外はあ
 人も形



白言あられのこや



た京たまに補さきまうとよみ

秋風あきかぜ

重なりひく

月つきのさきまより

さやけき

侍いけけん門もん院いん堀くわ川がわ

なごのあかん

ふもあつて

みおきこ

あささあお銭
こそれりへ



紅梅こうばい

あありて

風の常

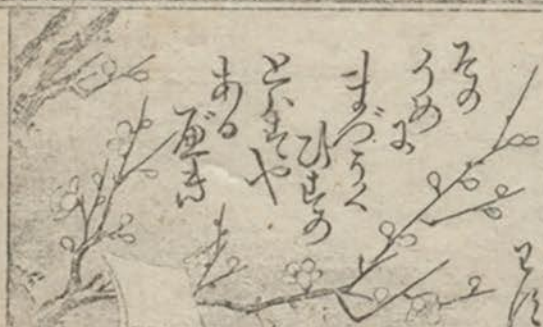
うめ

ふみ

あ

あ

あ



後ごにに大だい青せい左さ大だい人じん

あ

あ

あ

あ

道みち因いん法師ほうし

あ

あ

あ

あ



竹川



橋姫



皇太后宮女末任成

その中よ

なれおひ

入るおのち

麻ぞなくる

あふくふま

はご何や

思われん

母ぞをえ

後直法師

おのち

あふくふま

思われん

母ぞをえ

西の河

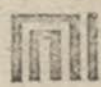
月や

おのち

あふくふま

我がなみ





あつちやと
権布

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと



あつちやと
権布

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと



あつちやと
寂蓮法師

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと

あつちやと



舟

くちもる乃
くちもる乃
かろくどと
くちもる乃
ゆくえし
れぬ



舟

きえくくく
あふふふ
まふふ
れふふ
ふふふ
ありとて



大徳心慈園

おはあな
うねあ
あふふ
おふふ
ふふふ
ふふふ
ふふふ



入道前大政大臣

あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ



中納言

あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ



三位

あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ



舟

あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ



跡見学園女子大学短期大学部図書館

☎03(3943)1368



1001852597

隆港堂

山本常次郎

淺草區壽

町四十三番地



町田藩司



本所區表町三十卷番地

年十二月 日 出版 屆

出版

定價十五錢



あ
その
うは
た
びの
ぐねる
こちを
きくぞ
また
たりぬ
やふに
すまふ
め

人々を祈ひて
 うき世に
 はあぢきなく
 此の世にあり
 まゝのありやうを



